

# IGAS2018 ここが見どころ

7月26日(木)~31日(火) 東京ビッグサイト

ピー・エス・シー

ピー・エス・シー(原田敏明社長、東京都足立区)は、IGAS2018のブース東2-36に出展する。データ一元管理によるトータルシステムを特長とし、導入実績を伸ばしている印刷・製本業向け業務管理システムを紹介する。

最近のトピックとしては、4月20日に公募が開始されたIT導入補助金1次募集について、同社がIT導入支援事業者として申請した3社3案件がすべて採択されたことがある。9月14日の事業完了に向けて調整を進めている。採択された3社

## パワーアップシリーズ

# 経営力向上設備に登録 IT導入支援でも実績

山崎紙工株式会社(京都・御朱印帳製造) 有限会社朋米ロジスティック(埼玉・オンデマンド印刷)

IT導入補助金2次募集は6月20日から始まっており、2次公募でも100%採択を目標に集客している。

また、印刷・製本専門のコンサル、株式会社GIMSと業務提携して「ものづくり補助金」にも対応していく。今回の2次公募は申請期間が短くなる想定されるが積極的に集客している。

■高いコストパフォーマンスを提供

IGAS2018でWEB工程管理をはじめとするクラウド対応システムをデモンストレーションする。SQLサーバを採用しており、システムの安全性・信頼性が高いのでコストパフォーマンスに優れる。

同社の「パワーアップシリーズ」は中小企業経営強化税制の先端設備(ソフトウェア)として、事前登録されており、「中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明書」が発行される。

今回のものづくり補助金でも、この生産性向上要件は採択を左右する加算対象となった。同社の印刷・製本業向け業務管理システムは、

さらに、工程管理・進捗管理はクラウド対応しており、PC・OSを選ばない。ピー・エス・シーは1985年の創業以来、主として中小の事業者向けに、受発注・生産・工程管理、売掛・買掛管理、財務会計や給与計算までカバーする基幹システムをワンストップで提供している。

3案件は次のとおり。日本紙興株式会社(大阪・大規模総合製本)